



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS

Institute for the Advanced Study
of Sustainability

持続可能な開発目標 (SDGs) と Future Earth

2017年3月2日

千葉大学 Future Earth Kick-off workshop

慶應義塾大学大学院教授

国連大学サステナビリティ高等研究所シニアリサーチフェロー

蟹江憲史



1. SDGsとは？

持続可能な開発目標：2030年へ向けた世界の
優先課題

2030年の
世界目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

17目標
169ターゲット
230指標
の三重構造



グローバルな性質ですべての国に普遍的に適用

進捗状況のモニタリングと評価（法的義務なし）

SDGsとは？

- 2012年のリオ+20（国連持続可能な開発会議）により設定が合意された国際目標
 - ポスト2015年開発アジェンダ（ミレニアム開発目標後の国際目標）に統合
- 2013年～2014年 国連でのオープンな作業部会（OWG）による国際交渉
 - 2014年の国連総会でOWG提案採択（17目標、169ターゲット）
- 2015年 ポスト2015年開発目標交渉
- 2015年9月国連総会にて採択



- 『目標 - ターゲット - 指標』の三重構造
- 進捗状況のモニタリングと評価を実施（法的義務はなし）
- 2030年を目指した目標
- グローバルな性質ですべての国に普遍的に適用可能
- 様々な国別の状況、能力、開発レベルや政策及びその優先順位を考慮



持続可能な開発目標

目標 1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

目標 2. 飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

目標 4. すべての人々への包括的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

目標 5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女子のエンパワーメントを行う

目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

目標 7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な現代的エネルギーへのアクセスを確保する

目標 8. 包括的かつ持続可能な経済成長、およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用とディーセント・ワーク(適切な雇用)を促進する

目標 9. レジリエントなインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進、およびイノベーションの拡大を図る

目標 10. 各国内および各国間の不平等を是正する

目標 11. 包括的で安全かつレジリエントで持続可能な都市および人間居住を実現する

目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する

目標 13. 気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる

目標 14. 持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続的に利用する

目標 15. 陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・防止および生物多様性の損失の阻止を促進する

目標 16. 持続可能な開発のための平和で包括的な社会の促進、すべての人々への司法へのアクセス提供、およびあらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包括的な制度の構築を図る

目標 17. 持続可能な開発のための実施手段の強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

目標、ターゲット、指標(案)の例

目標1 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を撲滅する

1.1 **2030年までに**、現在1日1.25ドル未満で生活する人々と定義されている、極度の貧困を**あらゆる場所で撲滅**。

指標(案): 性別、年齢、グループ、雇用状況、地理的(都市・農村)ごとの国際貧困ライン以下にある人口割合

1.2 **2030年までに**、各国の定義に従ってあらゆる次元の貧困状態にある、あらゆる年齢の男性、女性および子どもの割合を**少なくとも半減**させる。

指標(案): 性別と年齢ごとの国内貧困ライン以下で生活する人口の割合;

国の定義によるあらゆる次元からの貧困状態にある男性、女性、子供の割合

1.3 最低限の基準を含む、各国における適切な社会保達成障制度および対策を実施し、**2030年までに**貧困層および脆弱層に対し**十分な補償**をする。

指標(案): 性別、distinguishing children、失業者、高齢者、障がい者、妊婦、新生児、業務上負傷者、貧困状態や脆弱状態にあるなかで社会保障制度の適用を受けている人々の割合

1.4 **2030年までに**、すべての男性および女性、特に貧困層および脆弱層に対し、基本的サービスへのアクセス、オーナーシップ、および土地や他の形態の財産、相続財産、天然資源、適切な新技術やマイクロファイナンスを含む金融サービスの管理だけでなく、経済的資源に対する平等な権利も**保証**する。

指標(案): 基本的サービスのアクセスを有する世帯人口の割合; 法的に認知された書類など土地所有権を有する総成人人口の割合(性別、所有権別に)

1.5 **2030年までに**、貧困層や脆弱な立場にある人々のレジリエンスを構築し、気候関連の異常気象やその他の経済的、社会的、環境的な打撃や災害に対するリスク度合いや脆弱性を**軽減**する。

指標(案): 100,000人あたりの災害による死亡、不明、被害者数; 世界のGDPに関する災害の直接的経済損失; 国内と地域の災害リスク削減戦略を有する国数

1.a あらゆる次元での貧困撲滅のための計画や政策の実施に向け、後発開発途上国をはじめとする開発途上国に対し、適切かつ予測可能な手段を提供するために、開発協力の強化などを通じて、さまざまな供給源から多大な資源の動員を**確保**する。

指標(案): 政府が直接的に貧困削減プログラムに配分した資源の割合; 政府が公益事業に支出した割合(教育、健康、社会保障)

1.b. 貧困撲滅のための行動への投資拡大を支援するため、国家、地域および国際レベルで、貧困層やジェンダーに配慮した開発戦略に基づく適正な政策的**枠組みを構築**する。

指標(案): 特に女性、貧困層、脆弱層を対象とする政府支援の割合

OUR
COMMON
FUTURE

1972年 国連人間環境会議（ストックホルム会議）

1987年 『ブルントランド委員会報告書 (*Brundtland Report*)
- Our Common Future -』

国連の最重要課題として
「開発」が「持続可能な開発」へ
↓
「環境」と「開発」、そして「社会」
を真に統合

2015年以降の「開発」アジェンダ／持続可能な開発目標（SDGs）

Transforming Our World
The 2030 Agenda for Sustainable Development

日本政府：これまでの主なプロセス

- 5月20日 総理を本部長、全閣僚を構成員とするSDGs推進本部を設置。
第1回会合において「SDGs実施指針」の策定に向けた総理指示。
- 9月12日 第1回円卓会議を開催。
- 10月18日 実施指針の骨子を決定（推進本部幹事会決定）。
- 10月19日 パブリック・コメントを実施。
～11月1日
- 11月11日 第2回円卓会議を開催。
- 12月22日 第2回SDGs推進本部会合を開催。
実施指針を決定（推進本部決定）。



第2回SDGs推進本部会合で発言する安倍総理(2016年12月)(内閣広報室)

SDGs 実施指針の概要

【8つの優先課題と具体的施策】

①あらゆる人々の活躍の推進

People

②健康・長寿の達成

■一億総活躍社会の実現 ■女性活躍の推進 ■子供の貧困対策 ■障害者の自立と社会参加支援 ■教育の充実

■薬剤耐性対策 ■途上国の感染症対策や保健システム強化、公衆衛生危機への対応 ■アジアの高齢化への対応

③成長市場の創出、地域活性化、 科学技術イノベーション

Prosperity

④持続可能で強靱な国土と 質の高いインフラの整備

■有望市場の創出 ■農山漁村の振興 ■生産性向上 ■科学技術イノベーション ■持続可能な都市

■国土強靱化の推進・防災 ■水資源開発・水循環の取組 ■質の高いインフラ投資の推進

⑤省・再生可能エネルギー、 気候変動対策、循環型社会

Planet

⑥生物多様性、森林、海洋等の 環境の保全

■省・再生可能エネルギーの導入・国際展開の推進 ■気候変動対策 ■循環型社会の構築

■環境汚染への対応 ■生物多様性の保全 ■持続可能な森林・海洋・陸上資源

Peace

⑦平和と安全・安心社会の実現

■組織犯罪・人身取引・児童虐待等の対策推進 ■平和構築・復興支援 ■法の支配の促進

Partnership

⑧SDGs実施推進の体制と手段

■マルチステークホルダーパートナーシップ ■国際協力におけるSDGsの主流化 ■途上国のSDGs実施体制支援

- 実施指針の付表において、関係省庁から提出された国内及び国外の140の施策を、可能な限り具体的な指標と共に掲げた。

実施とフォローアップ(当面の主要日程)

2016年12月 実施指針の決定

2017年7月 ハイレベル政治フォーラム(HLPF)

- ✓ 毎年閣僚レベルでSDGsの進捗についてレビュー。
- ✓ 来年のHLPFでは自発的國家レビューにおいて我が国の取組を発表予定。

2017年9月 国連総会

- ✓ 2016年の国連総会では総理が推進本部立ち上げについて発言。ハイレベルで我が国の取組をアピールする機会。

2019年 首脳級HLPFを念頭に実施指針の第1回レビューを実施

2019年9月 首脳級レベルハイレベル政治フォーラム

- ✓ 4年毎に開催される首脳級(総会議長主催)HLPF会合の第1回。
- ✓ 次回、グローバル持続可能な開発報告(GSDR)が発出される予定。



2. SDGsの背景と意義

SDGsの3つの背景

ミレニアム開発目標 (MDGs) の未達成課題

目標と主なターゲット

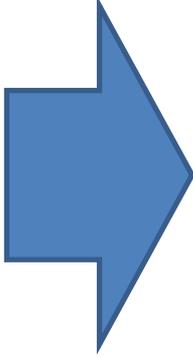
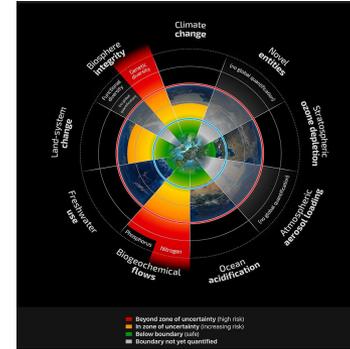
<p>目標1: 極度の貧困と飢餓の撲滅</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を半減させる 飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる 	<p>目標5: 妊産婦の健康の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊産婦の死亡率を4分の1に削減する
<p>目標2: 初等教育の完全普及の達成</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする 	<p>目標6: HIV/AIDS、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> HIV/AIDSの蔓延を阻止し、その後減少させる
<p>目標3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての教育レベルにおける男女格差を解消する 	<p>目標7: 環境の持続可能性確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な飲料水と衛生施設を利用できない人口の割合を半減させる
<p>目標4: 乳幼児死亡率の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 5歳未満児の死亡率を3分の1に削減する 	<p>目標8: 研究のためのグローバルなパートナーシップの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間部門と協力し、情報・通信分野の新技術による利益が得られるようにする

Xロコは「特定非営利活動法人ほっとけい」世界のまよえが作成したもの。



新たな社会現象と不安定化する世界

地球システムの限界



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2016年9月25日 国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」SDGs

SDGsの3つの背景

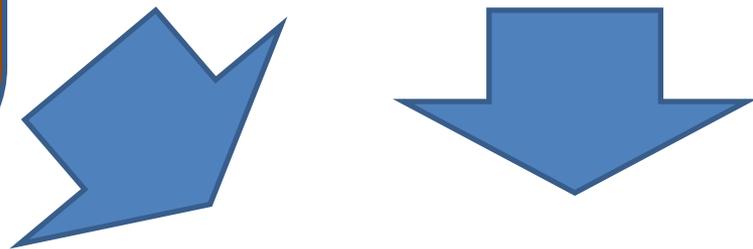
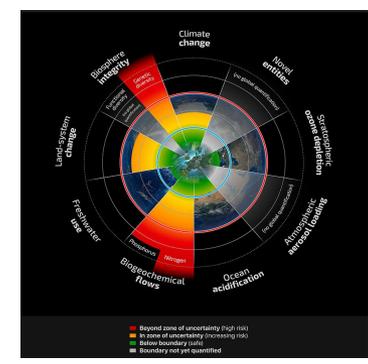
ミレニアム開発目標 (MDGs) の未達成課題

目標と主なターゲット

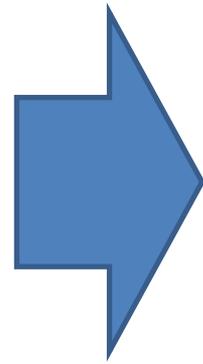
- | | |
|--|--|
|  <p>目標1: 極度の貧困と飢餓の撲滅</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を半減させる 飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる |  <p>目標5: 妊産婦の健康の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊産婦の死亡率を4分の1に削減する |
|  <p>目標2: 初等教育の完全普及の達成</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする |  <p>目標6: HIV/AIDS、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> HIV/AIDSの蔓延を阻止し、その後減少させる |
|  <p>目標3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての教育レベルにおける男女格差を解消する |  <p>目標7: 環境の持続可能性確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な飲料水と衛生施設を利用できない人口の割合を半減させる |
|  <p>目標4: 乳幼児死亡率の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 5歳未満児の死亡率を3分の1に削減する |  <p>目標8: 研究のためのグローバルなパートナーシップの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間部門と協力し、情報・通信分野の新技術による利益が得られるようにする |

Xロロは「特定非営利活動法人」はついでに「世界のまっしぐら」が作成したもの。

地球システムの限界



新たな社会現象と不安定化する世界



2015年を目標年とした国際開発目標（ミレニアム開発目標、MDGs）の未達成課題

目標とターゲット	アフリカ		アジア				オセアニア	ラテンアメリカ・カリブ海	コーカサス・中央アジア
	北	サハラ以南	東	東南	南	西			
目標 1 極度の貧困と飢餓の撲滅									
極度の貧困の半減	軽度の貧困	非常に重度の貧困	軽度の貧困	中度の貧困	重度の貧困	軽度の貧困	-	軽度の貧困	軽度の貧困
生産的雇用と働きがいのある人間らしい仕事	大規模な不足	非常に大規模な不足	中規模な不足	大規模な不足	大規模な不足	大規模な不足	非常に大規模な不足	中規模な不足	小規模な不足
飢餓の半減	軽度の飢餓	重度の飢餓	中度の飢餓	中度の飢餓	重度の飢餓	中度の飢餓	中度の飢餓	中度の飢餓	中度の飢餓
目標 2 初等教育の完全な普及									
初等教育の完全な普及	高い就学率	中度の就学率	高い就学率	高い就学率	高い就学率	高い就学率	高い就学率	高い就学率	高い就学率
目標 3 ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上									
初等教育への女子の平等な就学	同等に近い	同等に近い	同等	同等	同等	同等に近い	同等に近い	同等	同等
有給雇用における女性の割合	低い割合	中程度の割合	高い割合	中程度の割合	低い割合	低い割合	中程度の割合	高い割合	高い割合
国会における平等な女性議員数	中程度の女性議員数	中程度の女性議員数	中程度の女性議員数	少ない女性議員数	少ない女性議員数	少ない女性議員数	非常に少ない女性議員数	中程度の女性議員数	少ない女性議員数
目標 4 幼児死亡率の引き下げ									
5歳未満幼児死亡率の3分の2引き下げ	低い死亡率	高い死亡率	低い死亡率	低い死亡率	中程度の死亡率	低い死亡率	中程度の死亡率	低い死亡率	低い死亡率
目標 5 妊産婦の健康状態の改善									
妊産婦死亡率の4分の3引き下げ	低い死亡率	高い死亡率	低い死亡率	中程度の死亡率	中程度の死亡率	低い死亡率	中程度の死亡率	低い死亡率	低い死亡率
リプロダクティブ・ヘルスへのアクセス	中程度のアクセス	少ないアクセス	多いアクセス	中程度のアクセス	中程度のアクセス	中程度のアクセス	少ないアクセス	多いアクセス	中程度のアクセス
目標 6 HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病のまん延防止									
HIV/エイズのまん延防止および減少	低い発生率	高い発生率	低い発生率	低い発生率	低い発生率	低い発生率	低い発生率	低い発生率	低い発生率
結核のまん延防止および減少	低い死亡率	高い死亡率	低い死亡率	中程度の死亡率	中程度の死亡率	低い死亡率	中程度の死亡率	低い死亡率	中程度の死亡率
目標 7 環境の持続可能性の確保									
改良された飲料水を利用できない人々の割合を半減	高い普及率	低い普及率	高い普及率	高い普及率	高い普及率	高い普及率	低い普及率	高い普及率	中程度の普及率
衛生施設を利用できない人々の割合を半減	中程度の普及率	非常に低い普及率	中程度の普及率	低い普及率	非常に低い普及率	高い普及率	非常に低い普及率	中程度の普及率	高い普及率
スラム居住者の生活を改善	低いスラム居住者の割合	非常に高いスラム居住者の割合	中程度のスラム居住者の割合	中程度のスラム居住者の割合	中程度のスラム居住者の割合	中程度のスラム居住者の割合	中程度のスラム居住者の割合	中程度のスラム居住者の割合	-
目標 8 開発のためのグローバル・パートナーシップの構築									
インターネット利用者	中程度の利用者	少ない利用者	多い利用者	中程度の利用者	少ない利用者	多い利用者	少ない利用者	多い利用者	多い利用者

成果チャートは2つのレベルで作成されています。各欄において、文言は現在の開発レベルを示し、色は以下の凡例に従いターゲットに対する進捗の程度を示しています。

- ターゲットを達成又は高い進捗
- 良好な進捗
- 着実な進捗
- 不十分な進捗又は悪化
- データ紛失又はデータ不十分

地域分類および国別データについては国連統計部ミレニアム開発目標ウェブサイト mdgs.un.org をご覧ください。各地域において国別の状況が地域の平均と著しく異なる場合があります。データは更新され、方法論も改訂されているため、本成果チャートは過去のチャートと比較することはできません。

出典：国際連合以下の機関の提供による 2015年6月時点で利用可能なデータおよび推計値に基づく：国連食糧農業機関（FAO）、列国議会同盟（IPU）、国際労働機関（ILO）、国際電気通信連合（ITU）、国連合同エイズ計画（UNAIDS）、国連教育科学文化機関（UNESCO）、国連人間居住計画（UN-Habitat）、国連児童基金（UNICEF）、国連人口部（UN Population Division）、世界銀行（WB）、世界保健機関（WHO）。

編集：国連経済社会局統計部

持続可能な開発／成長目標とは？ Sustainable Development Goals (SDGs)



2030年の
世界目標

17目標
169ターゲット
230指標
の三重構造

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



グローバルな性質ですべての国に普遍的に適用

進捗状況のモニタリングと評価（法的義務なし）

SDGsの背景

ミレニアム開発目標 (MDGs) の未達成課題

目標と主なターゲット

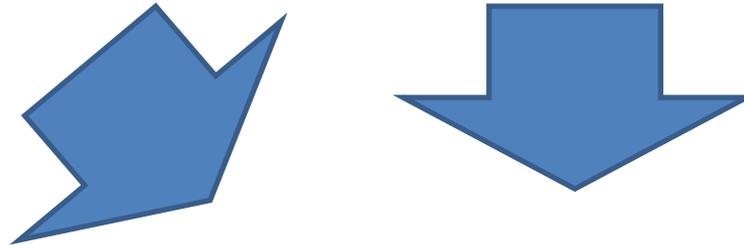
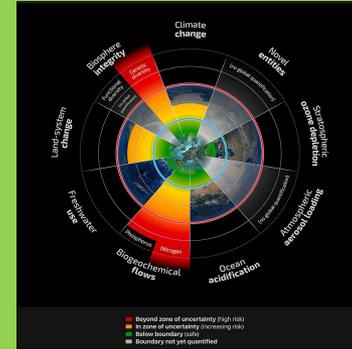
<p>目標1: 極度の貧困と飢餓の撲滅</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を半減させる 飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる 	<p>目標5: 妊産婦の健康の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊産婦の死亡率を4分の1に削減する
<p>目標2: 初等教育の完全普及の達成</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする 	<p>目標6: HIV/AIDS、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> HIV/AIDSの蔓延を阻止し、その後減少させる
<p>目標3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての教育レベルにおける男女格差を解消する 	<p>目標7: 環境の持続可能性確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な飲料水と衛生施設を利用できない人口の割合を半減させる
<p>目標4: 乳幼児死亡率の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 5歳未満児の死亡率を3分の1に削減する 	<p>目標8: 研究のためのグローバルなパートナーシップの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間部門と協力し、情報・通信分野の新技術による利益が得られるようにする

Xロコは「特定非営利活動法人ほっとがいの 世界のまよえ」が作成したもの。



新たな社会現象と不安定化する世界

地球システムの限界



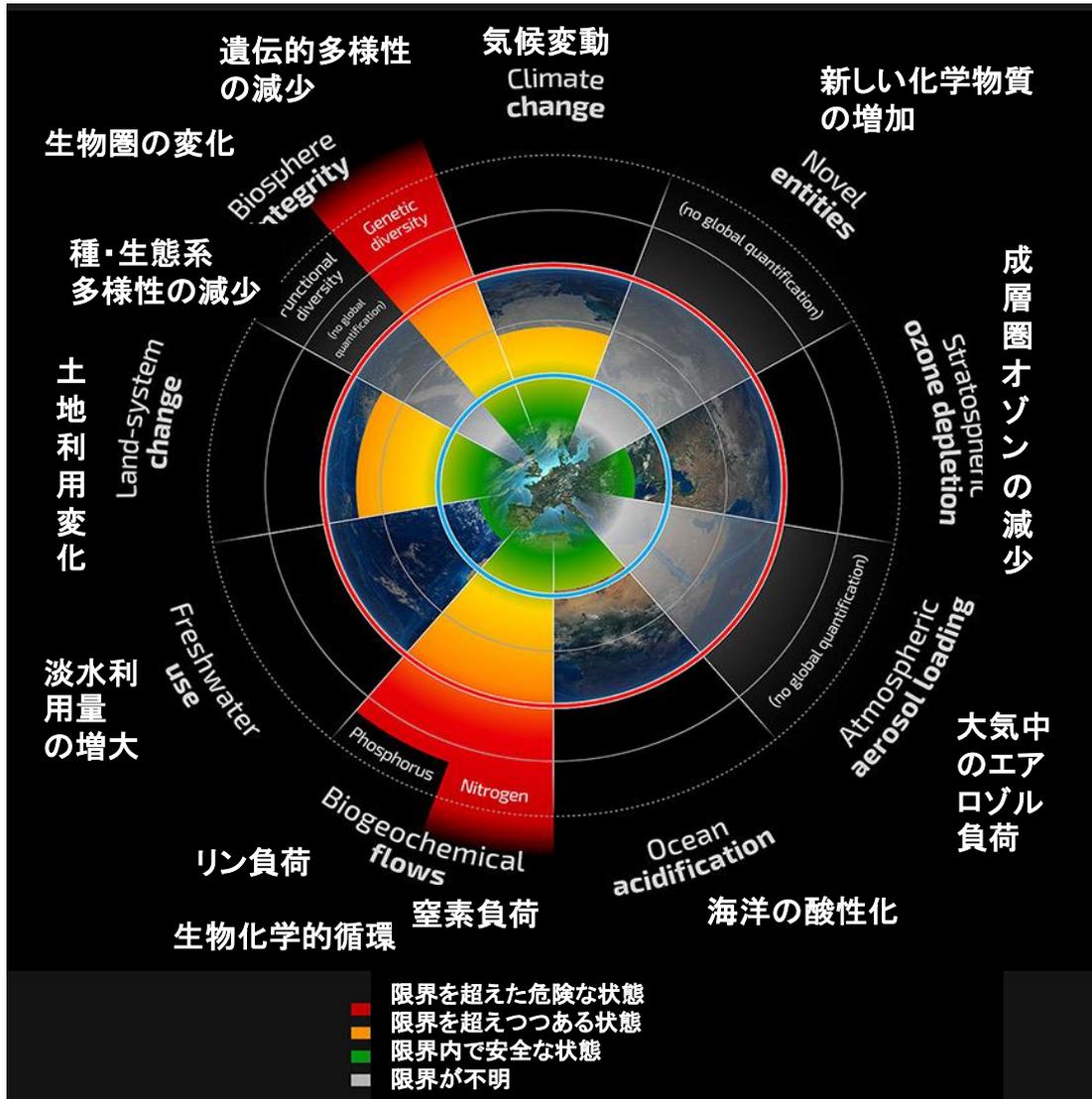
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2016年9月25日 国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」SDGs

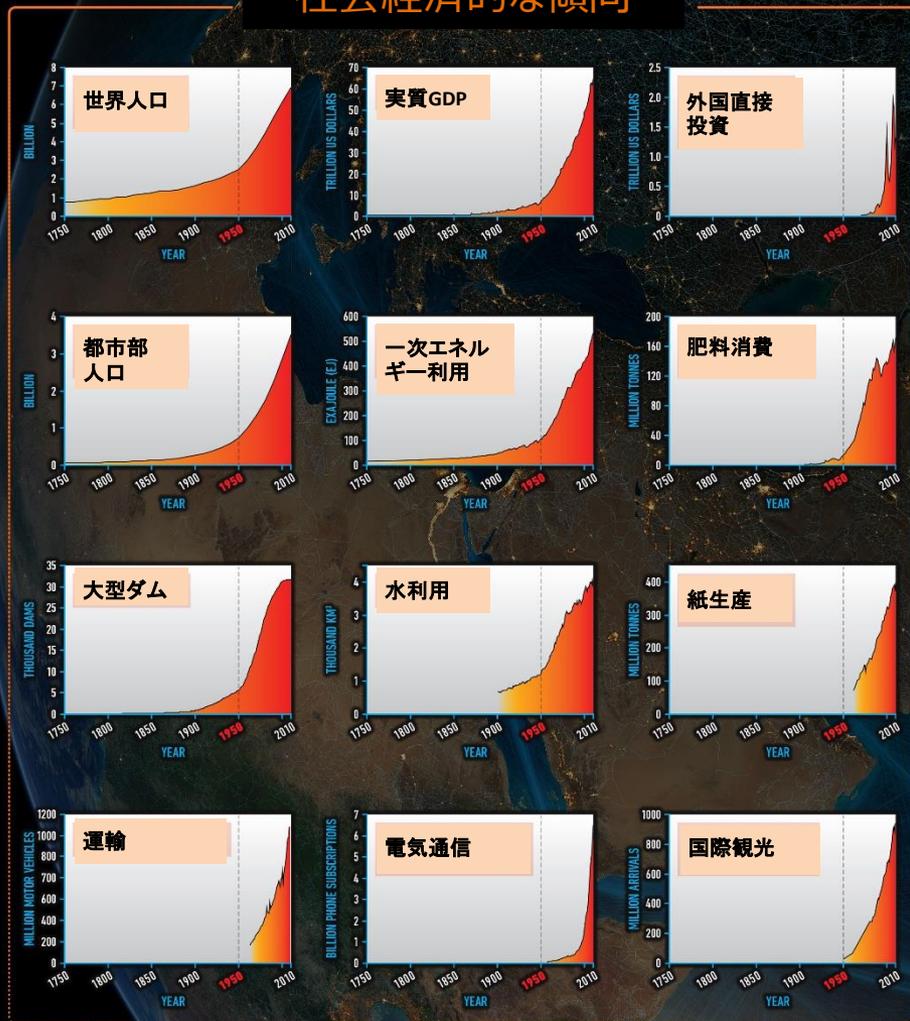
悲鳴を上げる地球環境



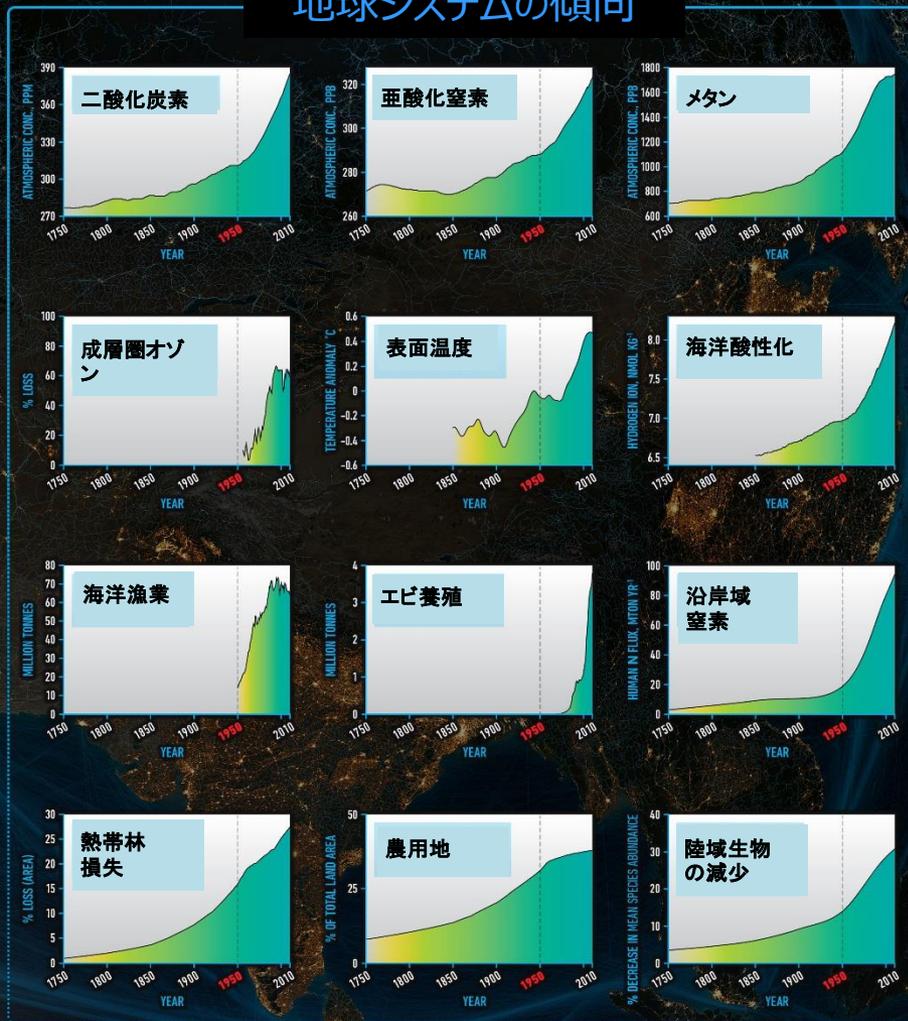
⇒ 環境問題の「質」の変化
 身近な環境問題から
 これにプラスして**地球変動**の課題へ
 Cf.「人類世 (anthropocene)」
 (Crutzen 2002)

人間が地球をかえる：1950年から右肩上がり急加速

社会経済的な傾向



地球システムの傾向



REFERENCE: Steffen, W., W. Broadgate, L. Deutsch, O. Gaffney and C. Ludwig (2015), The Trajectory of the Anthropocene: the Great Acceleration, Submitted to *The Anthropocene Review*.

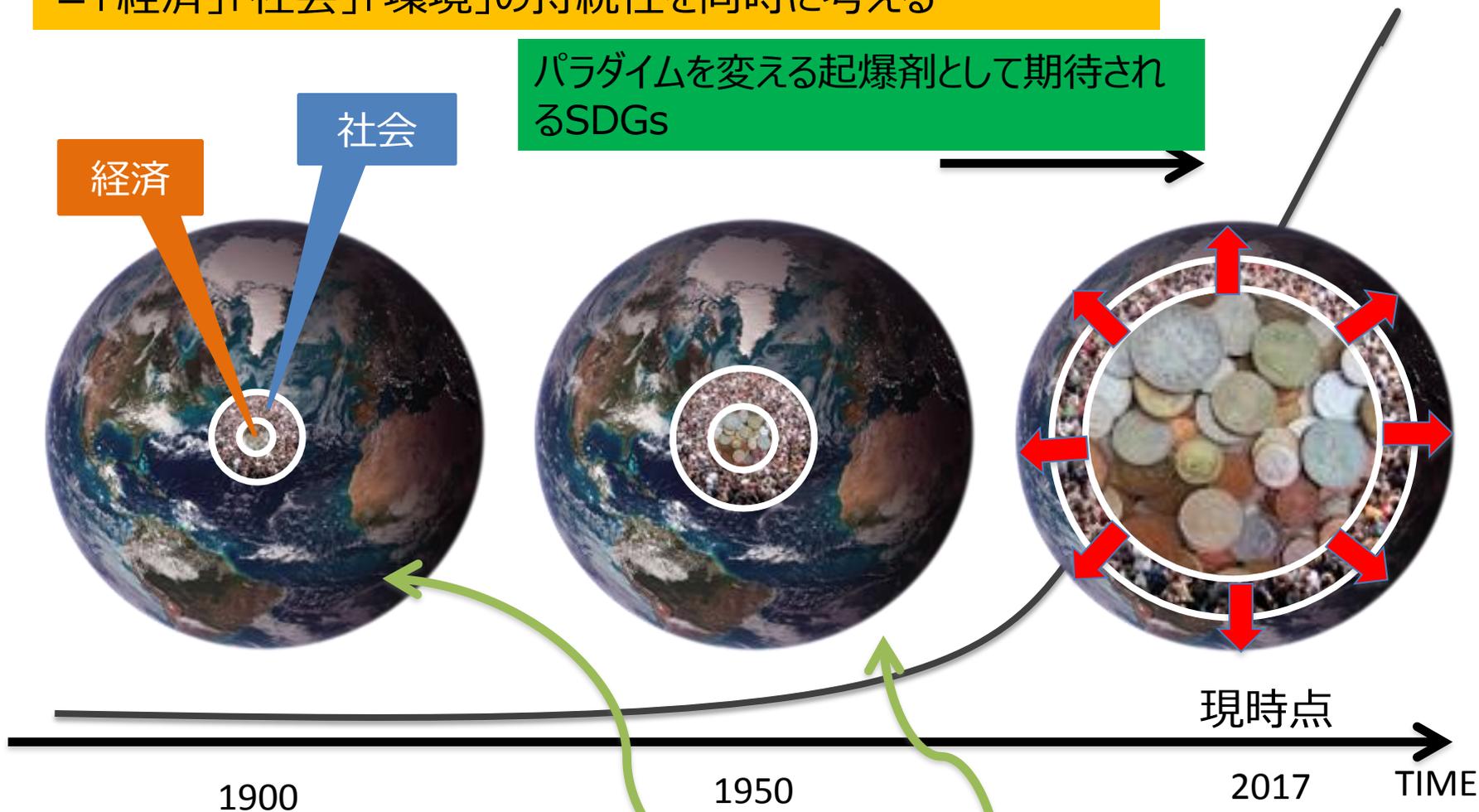
MAP & DESIGN: Félix Pharand-Deschênes / Globaia



このままの成長パターンでは地球がもたない!!

SDGs時代の「持続可能な開発」

⇒地球システムの許容範囲内で開発・成長を続けること
=「経済」「社会」「環境」の持続性を同時に考える



パラダイムを変える起爆剤として期待されるSDGs

経済

社会

現時点

1900

1950

2017

TIME

現代人の思考・
制度のベース

‘Sustainable Development Goals for People and Planet.’ *Nature* (Vol 495, 21 March 2013). By David Griggs, Mark Stafford-Smith, Owen Gaffney, Johan Rockstrom, Marcus C Ohman, Priya Shyamsundar, Will Steffen, Gisbert Glaser, Norichika Kanie and Ian Noble

SDGsの背景

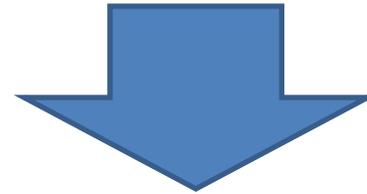
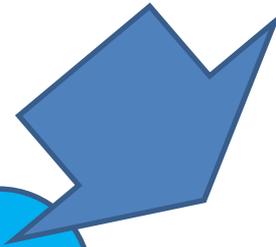
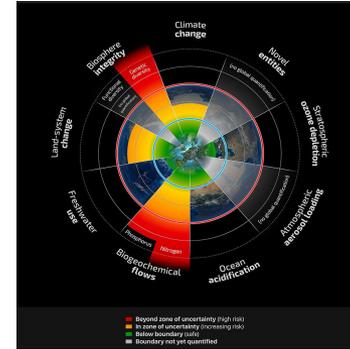
ミレニアム開発目標 (MDGs) の未達成課題

目標と主なターゲット

<p>目標1: 極度の貧困と飢餓の撲滅</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を半減させる 飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる 	<p>目標5: 妊産婦の健康の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊産婦の死亡率を4分の1に削減する
<p>目標2: 初等教育の完全普及の達成</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする 	<p>目標6: HIV/AIDS、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> HIV/AIDSの蔓延を阻止し、その後減少させる
<p>目標3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての教育レベルにおける男女格差を解消する 	<p>目標7: 環境の持続可能性確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な飲料水と衛生施設を利用できない人口の割合を半減させる
<p>目標4: 乳幼児死亡率の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 5歳未満児の死亡率を3分の1に削減する 	<p>目標8: 研究のためのグローバルパートナーシップの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間部門と協力し、情報・通信分野の新技術による利益が得られるようにする

Xロコは「特定非営利活動法人ほっとけい」の世界的なまちづくり活動の成果。

地球システムの限界



新たな社会現象と不安定化する世界

SUSTAINABLE GOALS 世界を変えるための17の目標



社会システムの変化と不安定・不確実性



約30億人のインターネットユーザー
(世界の世帯の44%)
約70億人の携帯電話利用者
約10億人のFacebook利用者



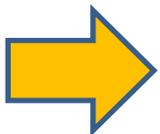
パンデミック現象



移動するひとびと
(難民・移民)



国際テロリズム



21世紀的な社会・世界動向に対応した課題解決が必要

持続可能な開発／成長目標とは？
Sustainable Development Goals (SDGs)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



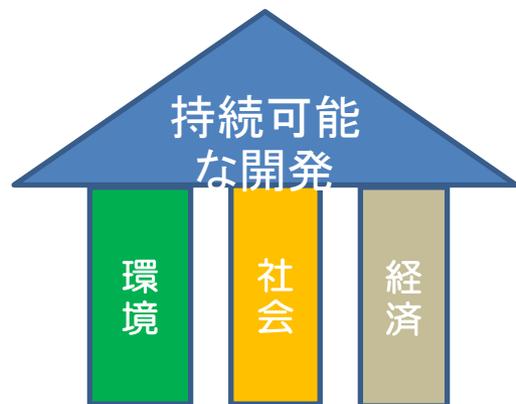
2030年までの持続可能な開発の「共通言語」

=

トランスディシプリナリティにとっては貴重な機会

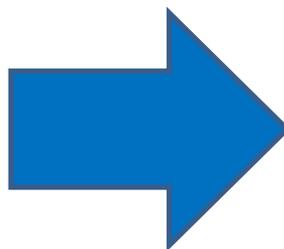
SDGsは経済・社会・環境の3側面の相互連関を強く認識(インターリンクージュ)

Griggs, Kanie et al. 'Sustainable Development Goals for People and Planet.' *Nature* (Vol 495, 21 March 2013).



将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発

20世紀型
持続可能な開発
(MDGs型)



現在及び将来の世代の人類の繁栄が依存している地球の生命維持システムを保護しつつ、現在の世代の欲求を満足させるような開発

21世紀型
持続可能な開発

目標設定に起因するガバナンス – 新たなガバナンス戦略

SDGsは新しいかたちのグローバル・ガバナンス

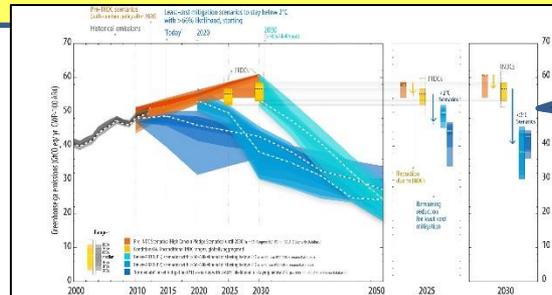
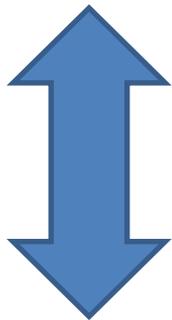
これまで
主流

国際条約（例 – 気候変動枠組条約）
⇒ 国際ルールをつくるガバナンス



→ できることの積み上げ式で
必要なアクションがとれず（フォアキャストिंग）

SDGs



パリ協定実施でも
脱炭素目標とは大きなギャップが！

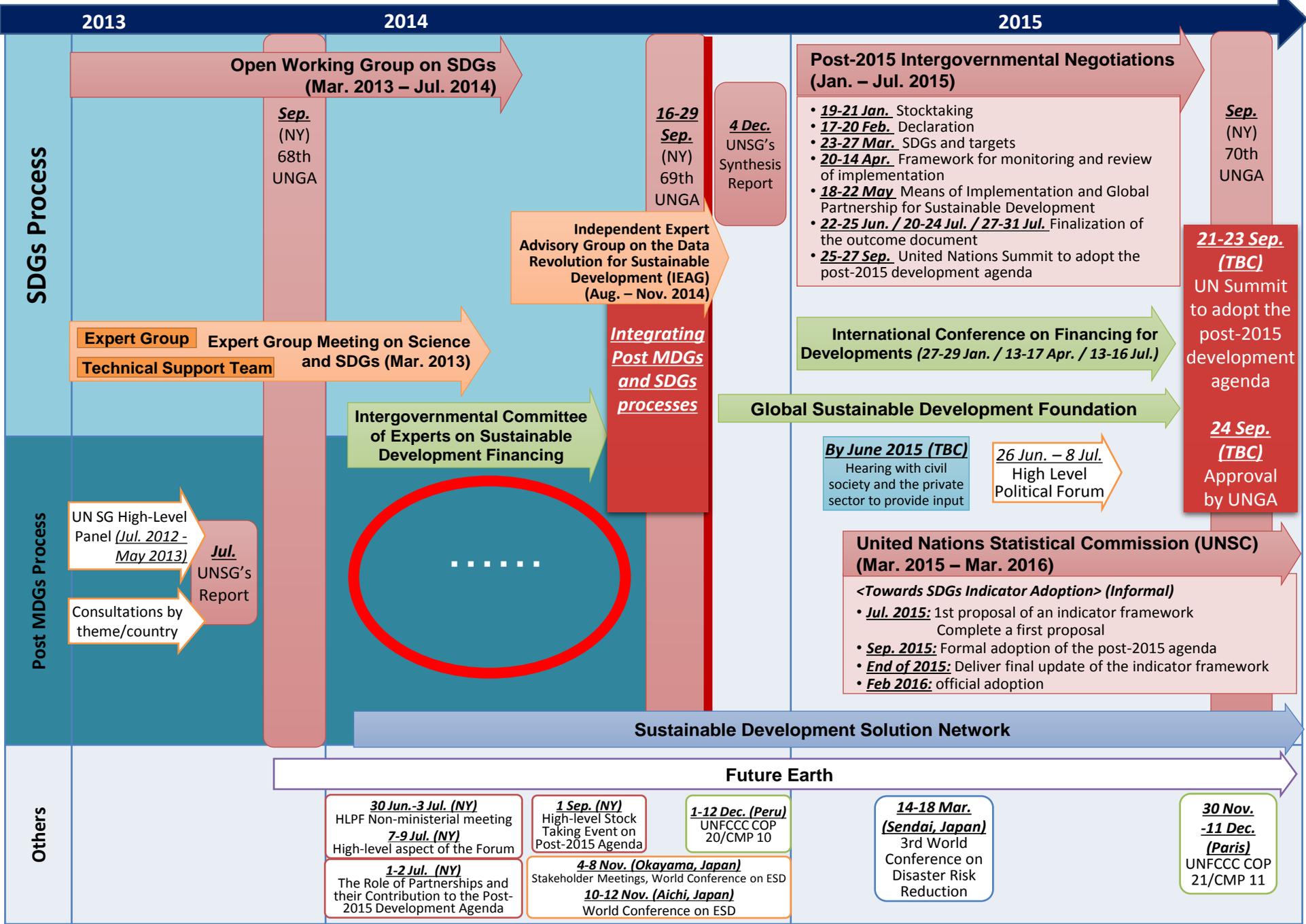
- ❑ 野心レベルの提示からスタート（バックキャストिंग）
- ❑ 実施メカニズム・法的拘束力はなし（各主体が自由につくる）
- ❑ モニタリングと評価のみ





3. SDGs策定プロセス と transdisciplinarity

プロセスの妙：ポスト2015年開発アジェンダの主要課題へ



SDGs Process

Post MDGs Process

Others

2013

2014

2015

Open Working Group on SDGs
(Mar. 2013 – Jul. 2014)

Sep.
(NY)
68th
UNGA

16-29
Sep.
(NY)
69th
UNGA

4 Dec.
UNSG's
Synthesis
Report

Post-2015 Intergovernmental Negotiations
(Jan. – Jul. 2015)

- 19-21 Jan. Stocktaking
- 17-20 Feb. Declaration
- 23-27 Mar. SDGs and targets
- 20-14 Apr. Framework for monitoring and review of implementation
- 18-22 May Means of Implementation and Global Partnership for Sustainable Development
- 22-25 Jun. / 20-24 Jul. / 27-31 Jul. Finalization of the outcome document
- 25-27 Sep. United Nations Summit to adopt the post-2015 development agenda

Sep.
(NY)
70th
UNGA

Independent Expert
Advisory Group on the Data
Revolution for Sustainable
Development (IEAG)
(Aug. – Nov. 2014)

Integrating
Post MDGs
and SDGs
processes

International Conference on Financing for
Developments (27-29 Jan. / 13-17 Apr. / 13-16 Jul.)

Global Sustainable Development Foundation

By June 2015 (TBC)
Hearing with civil
society and the private
sector to provide input

26 Jun. – 8 Jul.
High Level
Political Forum

21-23 Sep.
(TBC)
UN Summit
to adopt the
post-2015
development
agenda

24 Sep.
(TBC)
Approval
by UNGA

Expert Group
Technical Support Team

Expert Group Meeting on Science
and SDGs (Mar. 2013)

Intergovernmental Committee
of Experts on Sustainable
Development Financing

UN SG High-Level
Panel (Jul. 2012 -
May 2013)

Jul.
UNSG's
Report

Consultations by
theme/country

United Nations Statistical Commission (UNSC)
(Mar. 2015 – Mar. 2016)

- <Towards SDGs Indicator Adoption> (Informal)
- Jul. 2015: 1st proposal of an indicator framework
Complete a first proposal
 - Sep. 2015: Formal adoption of the post-2015 agenda
 - End of 2015: Deliver final update of the indicator framework
 - Feb 2016: official adoption

Sustainable Development Solution Network

Future Earth

30 Jun.-3 Jul. (NY)
HLPF Non-ministerial meeting
7-9 Jul. (NY)
High-level aspect of the Forum

1 Sep. (NY)
High-level Stock
Taking Event on
Post-2015 Agenda

1-12 Dec. (Peru)
UNFCCC COP
20/CMP 10

1-2 Jul. (NY)
The Role of Partnerships and
their Contribution to the Post-
2015 Development Agenda

4-8 Nov. (Okayama, Japan)
Stakeholder Meetings, World Conference on ESD
10-12 Nov. (Aichi, Japan)
World Conference on ESD

14-18 Mar.
(Sendai, Japan)
3rd World
Conference on
Disaster Risk
Reduction

30 Nov.
-11 Dec.
(Paris)
UNFCCC COP
21/CMP 11

SDGsを作り上げたプロセス上の工夫

1. オープンな作業部会(OWG)の2/3はステークホルダーや研究者を招いた現状把握

- 科学と政策のインターフェイスが強化
- 実質ベースの議論が可能に



⇒ 結果として、通常的外交文書で使用されないような(科学的)言語が成果文書に

2. 国連史上最大のコンサルテーション

3. 「30の政府専門家」が70ヶ国によって共有

- 1国1席(6)、2国1席(9)、3国1席(14)、4国1席(1)。日本はイラン、ネパールと。
- 伝統的な交渉連合(coalition)がくずれ、実質的論議可能に
- コロンビア、ガテマラ等「途上国の中の途上国(中進国)」が主導

4. 共同議長(ケニア国連大使とハンガリー国連大使)の信頼に基づいたテキスト交渉

- 未決事項を括弧【】に入れるのではなく、全て議長預かりでの文書決定

OWG-1:

General discussion (including “achieving and building on the MDGs,” “balancing the three dimensions, linking priority areas,” “national application of global goals,” “guiding principles” and “means of implementation.”)

OWG-2:

Conceptualizing the SDGs

Poverty eradication

OWG-3:

Food security and nutrition, sustainable agriculture, desertification, land degradation and drought

Water and sanitation

OWG-4:

Employment and decent work for all, social protection, youth, education and culture

Health, population dynamics

OWG-5:

Sustained and inclusive economic growth, macroeconomic policy questions (including international trade, international financial system and external debt sustainability), infrastructure development and industrialization
Energy

OWG-6:

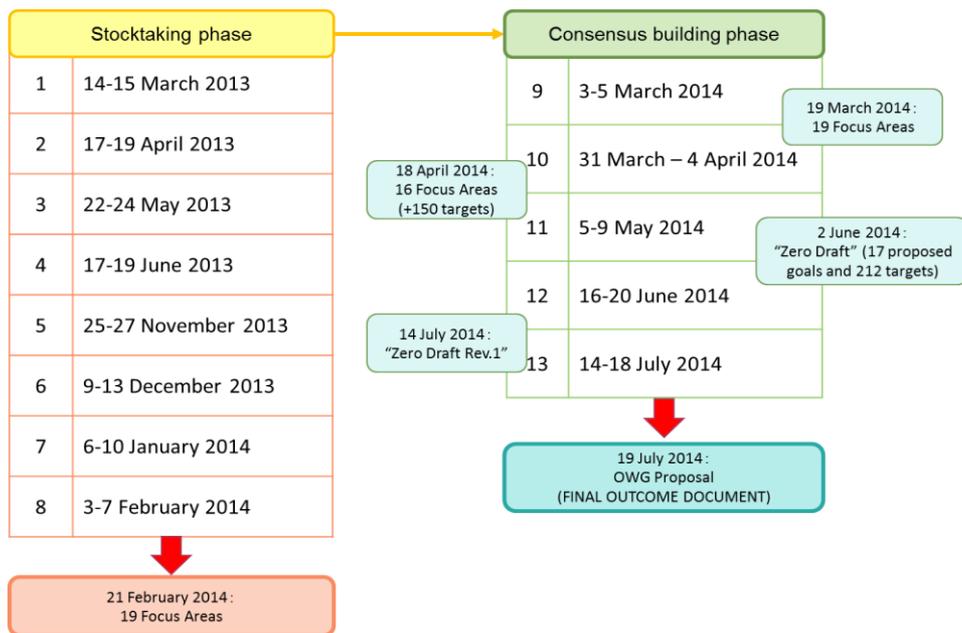
Means of implementation (financing, science and technology, knowledge-sharing and capacity building)
Global partnership for achieving sustainable development
Needs of countries in special situations, African countries, LDCs, LLDCs, and SIDS as well as specific challenges facing the middle-income countries
Human rights, the right to development, global governance

OWG-7:

Sustainable cities and human settlements, sustainable transport
Sustainable consumption and production (including chemicals and waste)
Climate change and disaster risk reduction

OWG-8:

Oceans and seas, forests, biodiversity
Promoting equality, including social equity, gender equality and women’s empowerment
Conflict prevention, post-conflict peacebuilding and the promotion of durable peace, rule of law and governance

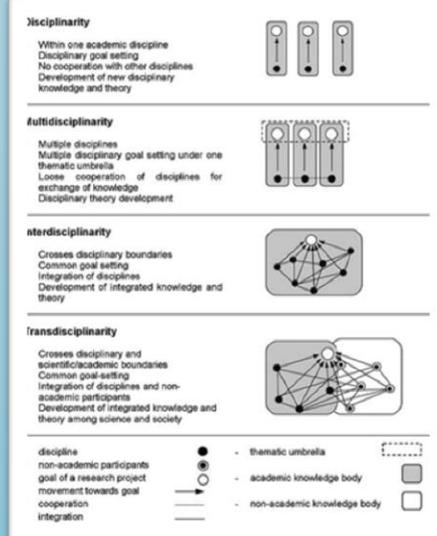


超学際 transdisciplinarityを活かすプロセス



研究者、国連担当者、政府代表、共同議長等でのワークショップ (NY)

研究課題の設定、
アウトプットの創出、
実現プロセスで研究者と政策
担当者・ステークホルダーが協働



議論内容の概念化、
学術的根拠に則った
提言策定・公表



成果文書
&
学術出版物





4. Future Earth と SDGs

SDGsのモニタリング・評価プロセスにおける科学との協働

SDGsは目標／ターゲット／指標とその進捗評価
⇒ 人間の福祉向上 (human well-being) と地球システムの保全 (planetary well-being) 双方の評価には科学的の役割が大



科学の側も実践的取り組みを重視 (トランス・ディシプリナリ研究)



フューチャー・アース

<http://www.futureearth.org/>

国際的研究連携のプラットフォーム

【目的】

- 地球環境の変化に伴い地球が直面している危機に対応
- 地球規模課題を解決
- 持続可能な社会への転換

【活動】

- 科学の統合（人文社会科学・自然科学の連携・統合）
- 社会との智の共創と共有
（社会のステークホルダーとの超学際的連携・協働）
コ・デザイン、コ・プロダクション、コ・デリバリー
- FEのプロジェクト同士、FE外の既存の関連プログラムやプロジェクトとのネットワーク構築、協働、情報交換の場を提供

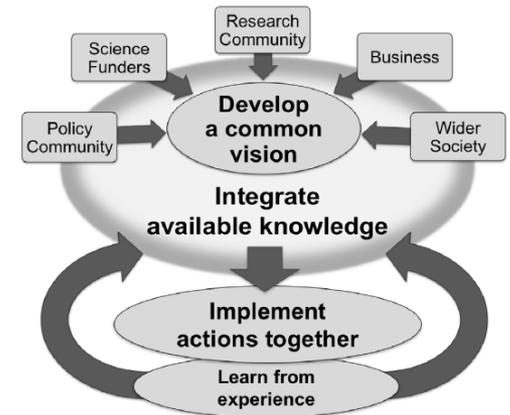


Fig. 1 - The knowledge arena: sustainability science as a collective learning process.



SDGs KAN

Sustainable Development Goals Knowledge Action Network

KAN – Key device to materialize solution-oriented research
SDG KAN - Enhancing the contribution of research in achieving
the Sustainable Development Goals



SDG KAN Leadership Team: David Griggs (Aus), Norichika Kanie (Jpn) and Jimena Leiva (Guatemala)

研究への課題

SDGsは「持続可能な開発」の研究と政策を結ぶ共通言語：trans-disciplinarity（超学際）への期待

1. Synergy and Trade-offs

- 課題間のインターリンクがどうなっているのか？【自然科学的連関】
 - 課題間の調整・統合実施にかかる制度的メカニズムはどうなっているのか（国際・国内制度）？【社会科学的連関】
 - 上記2者の相互関係はどうなっているのか？【トランスディシプリナリーな課題】
- SDGsの課題の幅を考えると、研究「プログラム」レベルの課題

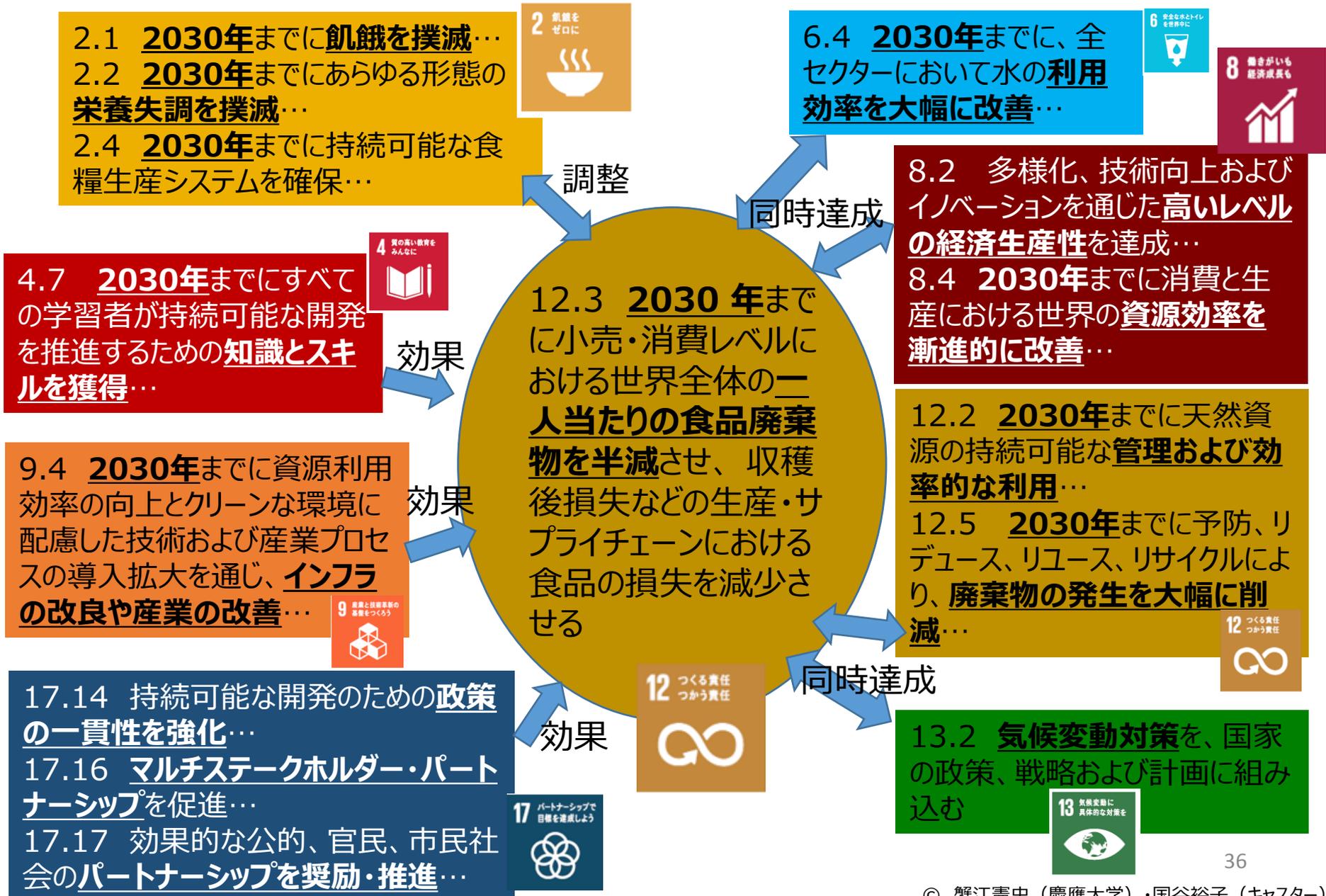
2. International-Domestic linkage

- 国際目標と国内実施のリンクはどうなっているか？
- 地方創生等国内（ローカル）実施によるSDGsの機能（ローカルと国際・長期を結ぶ）やあり方の研究、国際比較等

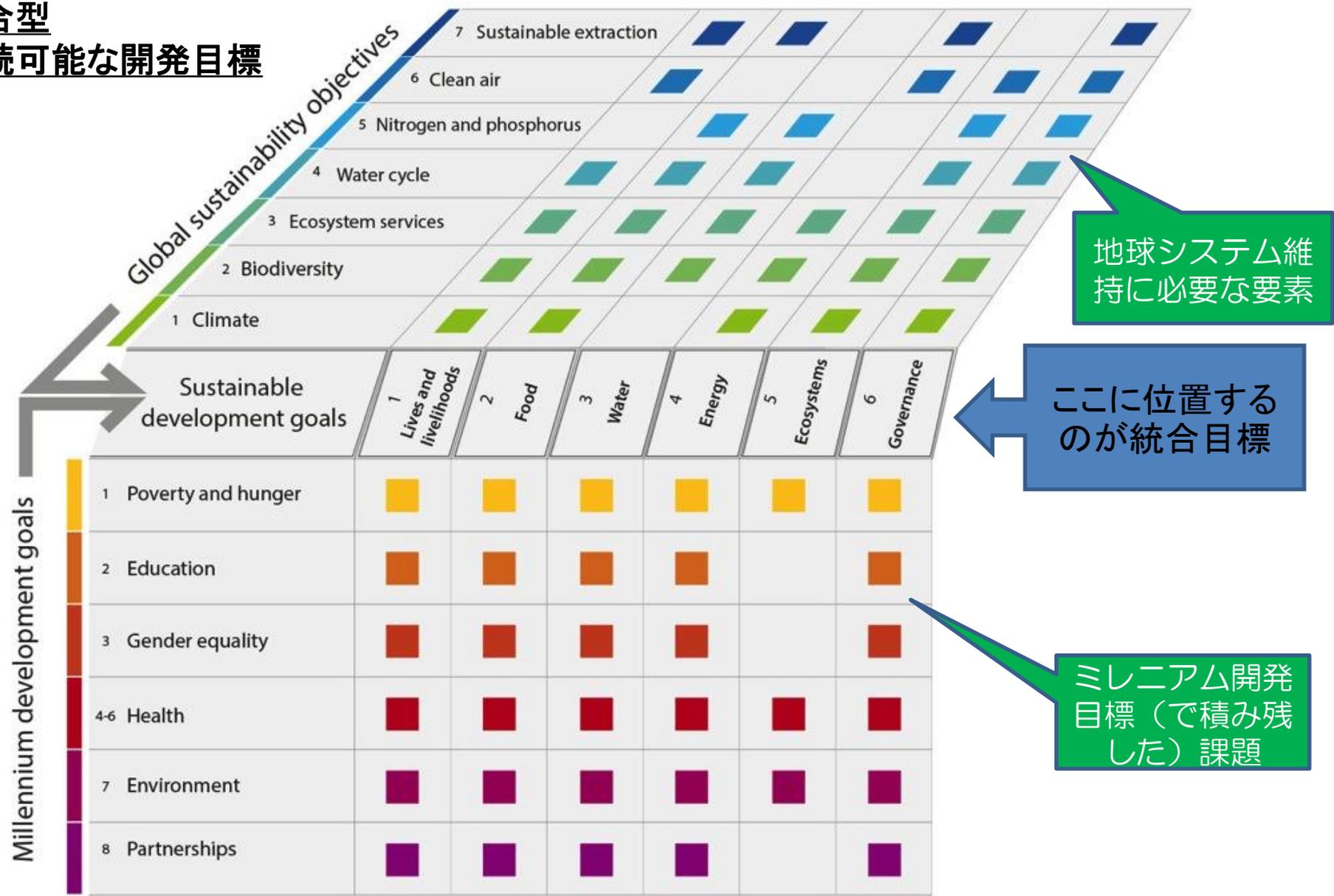
3. Partnershipsとガバナンス

- SDGsが生み出す新たなパートナーシップ（認証制度、標準、表彰制度など）
- 「目標によるガバナンス」がどのように機能するか？（Kanie and Biermann eds. *Governing through Goals*, MIT Press, 2017）

具体的課題解決には多くのSDGsが相互連関



**統合型
持続可能な開発目標**



David Griggs, Mark Stafford-Smith, Owen Gaffney, Johan Rockstrom, Marcus C Ohman, Priya Shyamsundar, Will Steffen, Gisbert Glaser, Norichika Kanie and Ian Noble, 'Sustainable Development Goals for People and Planet.' *Nature* (Vol 495, 21 March 2013).

Table 1 “Goal Scoring”

GOALS SCORING

The influence of one Sustainable Development Goal or target on another can be summarized with this simple scale.

Interaction	Name	Explanation	Example
+3	Indivisible	Inextricably linked to the achievement of another goal.	Ending all forms of discrimination against women and girls is indivisible from ensuring women’s full and effective participation and equal opportunities for leadership.
+2	Reinforcing	Aids the achievement of another goal.	Providing access to electricity reinforces water-pumping and irrigation systems. Strengthening the capacity to adapt to climate-related hazards reduces losses caused by disasters.
+1	Enabling	Creates conditions that further another goal.	Providing electricity access in rural homes enables education, because it makes it possible to do homework at night with electric lighting.
0	Consistent	No significant positive or negative interactions.	Ensuring education for all does not interact significantly with infrastructure development or conservation of ocean ecosystems.
-1	Constraining	Limits options on another goal.	Improved water efficiency can constrain agricultural irrigation. Reducing climate change can constrain the options for energy access.
-2	Counteracting	Clashes with another goal.	Boosting consumption for growth can counteract waste reduction and climate mitigation.
-3	Cancelling	Makes it impossible to reach another goal.	Fully ensuring public transparency and democratic accountability cannot be combined with national-security goals. Full protection of natural reserves excludes public access for recreation.

SynLink SDGs

Research and Action Framework for Synergistic Natural and Institutional Linkages between the SDG Targets

Co- hosted by Keio GESL/ UNU-IAS / Earth System Governance/Future Earth SDG KAN

- 2017年3月5~7日 NY郊外にて開催
- SDGsのターゲット間のリンク創出が政策・制度的に及ぼす影響の同定と改善へむけたアクション創出のためのワークショップ
- 参加者：研究者20人＋ステークホルダー20人（国連事務局、政府代表、ハンガリー大統領府、WRI、UNEP等）

securing effective implementation of actions to attain the SDG targets

understanding interaction
of the SDG targets in
addressing a particular
problem

institutional dimensions to
address the targets, and
develops governance
mechanisms to enhance and
facilitate synergistic
interactions and to reduce and
eradicate negative interactions

natural and social scientific knowledge
on the interaction between economic,
social and environmental dimensions
of sustainable development

social scientific and stakeholder
knowledge on inter-
linkage/interplay/orchestration/part
nerships/private
governance/certificate, etc.

An implementable framework to bring these two
tasks interactively together

SDGsを活用する意義

意義：多元主義的に活動を広げるツール

- 活動のLegitimacy（正当性）や公共性（への貢献）を示すことができる
 - 企業にとってのメリット
 - 持続不可能な活動に対抗するための「外圧」として利用できる
- SDGsは共通言語
 - 異なるステークホルダーとの協働・連携につながる（学界と社会の連携にも貢献の可能性）
 - 多様な国で、発展に持続的に貢献出来ることを示せる
 - 開発途上国の開発戦略への結びつけもやりやすくなる
- 課題相互間のリンクを示すことが出来る（課題の見える化）
- グローバル・長期の課題とローカル・短期のアクションを結びつける
 - 政策や活動の視点を広くする
- 同じ目標への活動を集めることで、スケールアップや連携を可能にする
 - 目標によるタグ付け、ベストプラクティスや課題の共有で連携を可能に
 - パートナーシップの創出
- ← 地球規模の課題への対応にはスケールアップが必要
- 「世界基準」での評価ができる
 - 投資などの評価基準に